

# コンクリートが担う東北の復興と発展

**主催** 一般社団法人セメント協会

**後援** 国土交通省東北地方整備局、(公社)土木学会東北支部、(一社)日本建築学会東北支部、(公社)日本コンクリート工学会東北支部、(一社)日本建設業連合会東北支部、(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部、全国生コンクリート工業組合連合会東北地区本部

**趣旨** 東日本大震災から4年以上が経過しました。東北地方の被災各地では、災禍からの復旧から復興へ、さらには震災以前より一層の発展を目指して、様々な取組みが精力的に進められており、その中で、コンクリートの果たしている役割は極めて大きいものがあります。本セミナーでは、コンクリート技術に関わる各分野を先導されているエキスパートをお招きし、東北の復興と発展の現状や今後の展望などを語っていただきます。

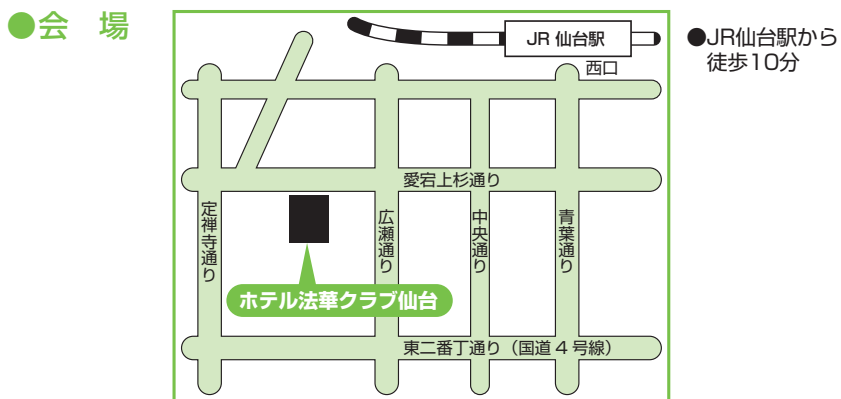
●日時 2015年12月4日(金) 9:55～16:50  
●場所 ホテル法華クラブ仙台 ハーモニーホール 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2-11-30

●定員 200名(定員になり次第締切させていただきます)  
●受講料 1名あたり10,000円(税込)・テキスト代込み  
●申込先 受講ご希望の方は、2015年11月25日(水)までに、  
① 受講申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込ください。  
② 受講料は、「郵便振替」(加入者名): 一般社団法人セメント協会、口座番号: 00170-9-196803)へお振込みください。

また、銀行振込希望の方は、受講申込書一番下の銀行振込に○をつけてお申込ください。  
①②を確認のうえ、受講券を送付させていただきます。  
なお、お申込みされた後にご欠席の場合、セミナー終了後にテキストを郵送致します。

●連絡先 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-4  
一般社団法人セメント協会 普及部門  
TEL: 03-5200-5060 FAX: 03-5200-5062

●CPD 土木学会認定CPDプログラム(JSCE15-0691 5.3単位)  
●CPDS 全国土木施工管理技士会連合会認定CPDSプログラム(325626 6unit)



**講演**

[プロローグ] 東北の復興と発展～コンクリートにできること～ 10:00～10:20  
東北大学大学院工学研究科土木工学専攻 教授 久田 真氏

1 復興道路等におけるコンクリート構造物の高耐久化の取り組み 10:20～11:20  
東日本大震災からの復興のリーディングプロジェクトとして事業化された復興道路、復興支援道路は、その事業の性格上、短期間に大量の構造物を建設する。これらの構造物が同時期に劣化し、将来の補修予算の逼迫をまねかないよう、復興道路等で試行されている東北地方の劣化特性を踏まえた、コンクリート構造物の高耐久化の取り組みを紹介する。  
キーワード: 復興道路、コンクリート構造物、東北地方の劣化特性、品質向上、高耐久化  
国土交通省東北地方整備局 南三陸国道事務所 所長 佐藤和徳氏

2 東北発 コンクリート構造物の長寿命化を目指して 11:30～12:30  
東北地方はその大部分が積雪寒冷地に属し、凍結防止剤が大量散布されるなど、コンクリート構造物の耐久性にとって厳しい環境にある。本講演では東北地方におけるコンクリート構造物の現状とこれを改善するための様々な取り組みについて紹介すると共に、地域住民との協働による新たなインフラ整備のあり方について論じる。  
キーワード: 凍結防止剤、劣化、復興、ロハスの橋、多重防護、橋守、住民との協働  
日本大学工学部土木工学科コンクリート工学研究室 教授 岩城一郎氏

3 強いコンクリートにはやわらかい頭で挑戦 13:30～14:30  
圧縮に強いコンクリートも引張には弱く、ひび割れが生じやすい。優れたコンクリートとする正攻法は、ち密な材料組織とすることで高強度と高耐久性を付与する方法である。それに対して、引張力が作用しても簡単には破壊することのない、あるいはひび割れが自然の力で治癒されるようなコンクリートの開発例について紹介する。  
キーワード: 自己修復、短繊維補強、セメント系複合材、靱性、マルチブルクラッキング  
東北大学名誉教授 (公社)日本コンクリート工学会会長 三橋博三氏

4 放射性物質で汚染された廃棄物処分へのコンクリート技術の活用 14:40～15:40  
事故由来の放射性 Cs(セシウム)は可燃性廃棄物焼却飛灰に水溶性となって濃縮しており、適切な処分が必要である。汚染焼却飛灰のコンクリートビット中での最終処分を考えると、焼却飛灰の特性に基づいたコンクリートの設計が必要である。特に通常は考慮する必要のない偶発作用も想定し、施設そのものとコンクリート材料の耐久性設計についてまとめ、フライアッシュコンクリートによる対策の効果も解説する。  
キーワード: 放射性Cs、汚染焼却飛灰、最終処分、偶発作用、耐久性設計、フライアッシュ  
国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター主任研究員 山田一夫氏

5 地産地消と資源循環によるコンクリートの高品質化 15:50～16:50  
もみ殻の熱エネルギー利用が進められている。その燃焼時に排出されるもみ殻灰(非晶質シリカ)のコンクリート混和材料への利用を目的とした資源循環モデルの構築に関する検討を開始した。ポゾラン材料の有効利用を基に、地産地消をキーワードとした資源循環にも配慮したコンクリートの性能の高度化について、その現状と展望を紹介する。  
キーワード: 地産地消、資源循環、ポゾラン材料、フライアッシュ、もみ殻灰、強度、耐久性  
秋田大学大学院工学資源学研究所土木環境工学専攻 教授 徳重英信氏

第305回コンクリートセミナー受講申込書

●セメント協会普及部門宛 (FAX. 03-5200-5062) にお送りください。

申込日 月 日  
勤務先 TEL. - - FAX. - -  
業種 官公庁 建設業 コンサルタント 生コン コンクリート製品  
混和剤 学校 セメント その他( )  
住所 〒  
受講者(連名可)

●業種は該当する□の中に✓印をつけてください。電話番号・郵便番号も必ずご記入ください。  
●受講料は郵便振込・銀行振込致します。(どちらかに○をつけて下さい。)

受講券在中  
□□□-□□□□  
都道府県 区町市郡  
殿  
●勤務先等も必ずご記入ください。

右の欄は、受講券等をお送りするための宛名として、当方で切り取って封筒に貼付いたしますので、楷書でご記入ください。